



1 月

箕島会場だよ

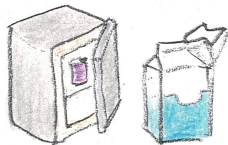
卯年には  
冬の間が開き 春の訪れを  
感じて飛び出る  
との縁起よい干支のようです

マッチングコーナー  
Matching a corner  
箕島会場 😊 ガレープラインで展開中



友達登録 +  
募集中!

ずい分前にマッチングした小さな冷蔵庫  
工場で使わせてもらっていましたが、家の冷蔵庫  
が故障し、次のが来るまでの  
一週間、本当に助かりました。



家族が増えるにつれ、来客も多くなり、皆が  
集まる時には、その都度 子供部屋のイスを下ろ  
していましたが、丸イスを5脚マッチングで頂き  
重ねられてスペースもいらず  
重宝しています。



## ゆめ拾い隊



有田市生活環境課で  
ボランティアのゴミ袋を配布して頂き  
女の浦海水浴場を3回、ゆめ拾いしました。  
きれいになってゆく喜びと共に、前回美しく  
なったように思われた場所に再び「あれ!!」  
と新たなるプラスチックゴミが...  
汚れに汚れきっている海の、魚の、地球の悲鳴  
を伺い知り、人間がこれ迄おかしてきた罪を  
つきつけられた思いでした。

ゆめ拾い

参加募集中!

今回は

1月23日(月) 10時~

場所 女の浦海水浴場 (現地集合)

※雨天中止



フォロー下さい



じっせん川柳

流れ星 祈る間もなく スッと消え  
 女の浦に 再び来れし 笑顔なり  
 年末は 体調管理 つまづかず  
 時雨の日 手編みの帽子 素敵だね  
 安全に 電気点検 感謝なり  
 知事選に 足を運べる 有難さ  
 ラインピコ 友達からのおめでどう  
 受賞式 蝶のブローチを 胸元へ  
 デビュー作 受賞の知らせに 心湧く  
 都会には 田舎と違う せわしなさ  
 年の瀬のビルの谷間で 待つ笑顔  
 あけましておめでどう もう年末だ  
 ワクチンと コロナのケンカ 終わる

風呂そうじ 母の背流す 思い出よ  
 うさぎ年 明るい未来 キッと来る  
 渋柿も 干し柿になり ほめられて  
 物価高 しらすご飯で 感謝なり  
 年末は 神棚そうじ 心込め  
 女の浦の 若き頃来た 思い出か  
 海原の ゴミそうじ でき スッキリと  
 めでたしや 友の受賞に 笑顔出る  
 大ヒラメ 釣った若者 得意顔  
 淡路島 くっきり浮かぶ 水平線  
 竿になる キッと大物 フグでした  
 釣り客に そっと近づき 何釣れる？  
 久しぶり 眺める 海のすばらしさ

クエッションa コーナー

Question a corner question a corner question a

～その後のコメントにて～

洋服に付いたシミの取り方について、すぐに台所用洗剤で洗ったら、本当にきれいになってビックリしています。気付かずに時間が経ってしまったシミは、薬局で買った「女性のための洗剤」泡タイプをためした所、ほとんどわからない位になって喜んでます。聞いて良かったです。

つながりデー

| 月日  | 時間            | 氏名 |
|-----|---------------|----|
| ( ) | 9:30 ~ 10:10  |    |
|     | 10:15 ~ 10:55 |    |
|     | 13:30 ~ 14:00 |    |

つながりデー・マッチングに対するお問い合わせ並びにご意見ご感想など下記メールアドレスに どんどんお寄せ下さい。

minoshima.asa@gmail.com

キリトリ線



# 元朝式

令和5年1月1日(日)

AM 5:00 ~ AM 5:40

箕島会場(古江見老人憩いの家1F)

本部元朝式をライブ配信いたします

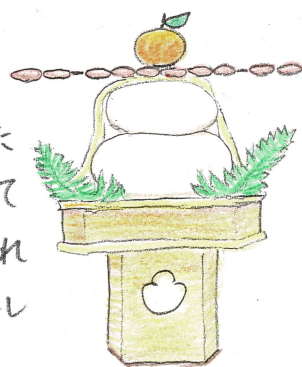


河川の氾濫を防ぐのに頑丈な堤防を築き流れをコントロールすれば良いと考える現代人ですが、江戸期の人々は川が氾濫するのは当然だから高台に住み氾濫するに任せればいいと考えたように人間中心主義ではなく「自然」と「生きとし生けるもの」との調和を図りながら心の豊かさを求めて仕合わせに生きることこそがコロナ後の生き方として大切だと賜った年頭の辞からまだ収まらぬコロナ禍でも現実を直視しつつ新しい生活様式を模索し続けながら苦しかったけれど苦しかったからこそ「こう変わった」「こんなことにも気付けた」と小さな発見喜びに出会えた決してネガティブばかりではなかった一年を思うのです。令和5年も大自然の摂理に沿った生き方を心して、よりよく、もっとよくと共に励んでゆきたく思います。今年一年賜りましたご厚誼に感謝申し上げます。(田中)

## イルミネートaコーナー

*illuminate a corner illuminate a corner*

朝起会において毎日演説で精一杯だった私に4月から箕島の会計係も頂きました。お金の出し入れだけと思っていた所、箕島が会場に認可され、大阪地区の事務局へ会計報告をする事に、何もかも初めてのことで戸惑いましたが8月度から4回目の報告も先日済ませ、少し慣れてきました。おかげでキャッシュカードも作り、小さい字も書けるようになり、昔使っていた印もち0年ぶりに復活し、さぞ喜んでいることでしょう。私に必要あってのお役と感謝でございます。家庭にあっては今年も夫婦で現役で自営業を続けられたことに健康に感謝です。(金野)



引っ越しなどあり、バタバタした一年でしたが、主人の実家に改めて住み4ヶ月、自分の家の様に感じられ日々主人と仲良く過ごせる事が嬉しく感謝です。(東)

## ～今年一年を振り返って思った事、感じた事～

コロナウイルスも来年で4年目に入ります。終息が見えず毎日マスク、消毒、三密で暮らしていかねばと緊張感の毎日ですが、自分の体は自分で守っていくしかない。「判断」心が弱い私ですが朝起会で倫理の勉強を毎日できることに感謝です。私にとっては正義の味方お陰様で会長先生、会友の皆様を支えられ助けられ、感謝の思いで一杯です。人は一人では生きられず、生かされて生きて人生を全ういたします。謙虚な心を忘れず、実践倫理の現実大肯定と受け入れ、自分の足で一歩一歩前へと「尊敬と感謝の心」で新しい年を向かえたく思います。(黒田)

今年は6回目の年男で72才になりました。健康面については年々体力が落ちてきた事を実感していますが、お陰様でコロナ禍の中でも健康を維持する事が出来、仕事面においても現役を続けられる事に大変有難く思っています。良い一年でした。(間所章)



今年はりモート朝起会が終わり、会場での朝起会となったことで、この数ヶ月を、ほとんど休むことなく続けられたことが一番の収穫でした。一日だけ寝過ごししてしまい休んだように思います。来年度もこの経験をもとに毎朝集えるように努力したいと思います。皆さんの体験談を聞くことも大いに参考になることがあり、これからも精進していきます。(石井)



足の痛み以外はどことも悪くなく元気はつらつだった主人のおばが年の始めより体調をくずし、一時は食欲もなく心配しておりました。「こんな事初めてやよ」と点滴をするため病院通いの日々でしたが、96歳という年齢に一人で生活することがままならなくなり、

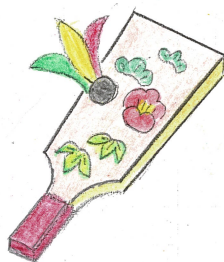
お医者様が勧めた介護施設への入所となりました。お世話になったおばに申し訳なく思いましたが、後見人の私達夫婦も年令を重ねており、「この状態ではとても自宅療養は無理です」と言われ、おば自身も最初は気が進まないようでしたが、だんだんと慣れてきて、「ここは極楽でええわ」と至れり尽くせりの生活に上機嫌に過ごしている姿に嬉しく、お陰様と感謝でございます。私自身今一度改めるべき所は反省し、少しなりとも良り善くと、来年度に向かいたく思うものです。(間所よ)



「ポストコロナの時代」へと世の中が一気に変化し、会場に於いても正式に認可をいただいた箕島会場は新しい時代となりました。会誌「倫風」は公共へのポスティングをさせていただくようになり、コロナ禍にありましても怯むことなく社会と繋がる頒布の喜びを感じる事ができました。公私共に人とのつながりの中に生かされた一年、多くの恩に感謝を忘れずに新年に向かいます。(大橋)

頒布係として段々チームワークが成り立ってきた様に思います。これ迄は交代で和歌山まで行って来ましたが、直接配送が叶ったのは嬉しいです。主人と一緒に行ってくれたことも懐かしい思い出です。楽しかったです。(藤田)

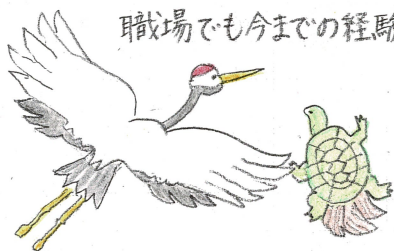
今までとは違う大きな一歩を踏み出せた年でした。前進あるのみ(松原)



海外では戦争があったりする中で、日本は平和でいられることに普段は何も思わなかった事が幸せと思えるようになり、当たり前が当たり前でないと実感する一年でした。(重田)

今年は体調を崩してしまいました。そのため自分で出来ていたことが出来なくなり、イライラがでできますが、「できる、できたことにお陰様」と切り替えて、老人カにありがとう(松本)

この一年を振り返りますと体調を崩し、ややもするとネガティブな心になることもありましたが、会友の皆様の前向きな姿に勇気づけられました。温かい輪の中で生かされておりますことに感謝でございます。(伏木)



今年も健康で過ごせました。皆様に感謝します。ありがとうございます。

(40代女性)

私にとって今年とは人の別れの年でした。4ヶ月の入院生活を終え、自宅療養となった妻と、お正月を迎える事ができ、喜んでいたのですが、新年早々私の父がなくなり、悲しみの涙が乾かない2ヶ月後、妻が永遠の眠りに着いたのです。63歳でした。もうこれで会えなくなるのかと思いと涙が止まらなくなり現実を肯定できなからためです。「たとえそれが苦痛をともしない現実、歪んだ現実だからと言って不平不満を唱え、否定し、拒否し、逃避を試みたところでどこにも救いはなく苦痛の深みにとらわれるだけです。それは「無駄な心」「不自然な心」というものです。まず己を虚しくして直面した現実のありのままを素直に受け容れることです。」と学びさせて頂きます。職場でも6年間一緒だったベトナムの人たち、10年間一輪の花を咲かせてくれた事務員さんが退職され今年とは本当に別れの年でした(山田)

年内一杯で44年あまり勤めた会社を退職しました。新しい職場でもこれまでの経験知識を発揮していきます。(白川)